

2015 (H27)



# 右馬允だより

真夜中の2時 主人正介はムクッと起き上り  
 舟の釣りに土をかけて行きます。今朝は次男充  
 も一緒というので少し安心して いてらっしゃい...と  
 布団の中で声をかけます。(いつも知らぬ間に布団は空  
 という事が多い) 私も右馬允だよりを書かなくては  
 と追いかけて起き 満月を見上げながら 主人たち  
 の美しい月を眺めながら釣りを楽しんでいる姿と  
 想いを寄せました。50匹~150匹くらい釣れる  
 のです。4時間くらいで。お客様はお出しする時  
 のうれしい気持ちかたまりません。お客様は大喜び。  
 本当に おいしーです。

26日(木)は いずみ先生宅で 炒め煮の茶会が  
 あり 私は お炭担当。膝が痛くて辛い茶事と聞いてい  
 ます。反子母を誘って下さるのでいつも一緒に土かけます。  
 例年の事ながら 右馬屋の「芽光」製の茶菓子。先生  
 自ら作って下さる懐石料理(今回は総員9名)で  
 半日たっぷり楽しませていただきました。日常と  
 全くかけ離れた超絶の茶事の世界。膝は痛くて  
 大変ですが 大好きです

## 琵琶湖周遊の旅 - 4回目 -

11月16日(木) 17日(金)



飯島清次隊長の下 12名必至で 永原駅から北琵琶湖  
 の一辺 24.8km を歩きました 左手畔  
 には懐かしい竹生島の塔が。静かな秘  
 やかな湖面と 気持ち良い空気に滑り泳ぐかわ  
 いらしい鴨たち。つづら尾崎展望台をすぎれば  
 らくは紅葉を美しく楽しんだのですが いかにも 登り坂

に少々大変、黙々と歩く一汗 やがて下り坂になり元気がと  
 りもとしく暗く雨が来た5:00過ぎ ようやく宿に到着。もう  
 この限界と宿では97ユー。お風呂といたって 57  
 楽しい反省会 夕食パーティ。おいしいお酒と食事。お宿旅館  
 におかたです。翌17日 塩津から木之本へ 本日は 賤ヶ岳

**賤ヶ岳の合戦** (証11年(1583)4月20日) 元正10年本能寺の變  
 と自害した織田信長の家督争いに端を起した羽柴秀吉と柴田勝家  
 の合戦、秀吉はこの勝利において天下人の足かかりを得た  
 この時功を上げた若武者 福島正則、片桐且元、脇坂安治  
 榑屋武則、加藤嘉明、加藤清正、平野長泰、は 賤ヶ岳の七本槍  
 と呼ばれ 秀吉のもとで大名へと昇進した。

12.8km の行程で 木之本 駅前着。昼食を済ませ一同  
 300年の大穴を越え七本槍酒造へ。昨晩もいたたき料理  
 が サラリとした 飲み易いお酒で かつ 酔いやすい、  
 というお酒です。 今回も 気持ちの良い歩き歩きが  
 出来ました。 ありがとございました。